

課題名：スマートリングを用いた睡眠への個人適合理化介入による労働生産性向上効果の実証研究

代表機関／代表者：株式会社SOXAI／代表取締役 渡邊 達彦

分担機関：国立大学法人東京大学、国立大学法人大阪大学

研究期間：令和7年9月～令和10年3月

研究開発目的

- スマートリングで取得した連続的な睡眠データに基づき、個人に最適化された睡眠改善介入（個人適合理化介入）を行うサービスを構築する。
- 睡眠介入がメンタルヘルス・プレゼンティズム・労働生産性に与える影響を科学的に検証する。
- 科学的・経済的エビデンスに基づき、健康経営と労働生産性向上を両立させる仕組みを確立する。

取り組み

- SOXAI RINGを用いて、日常生活の中で得られる睡眠データを収集・解析。
- 生成AIを活用して、専門家監修のもと睡眠介入コメントを自動生成。
- 段階的実証研究を実施
 - 予備試験（10名）：実証研究の条件を確定させるための検討。
 - 小規模実証（60名）：メンタル不調者を対象とした検証。
 - 大規模実証（200名）：実労働環境を想定した組織単位での検証。
- 健康経営支援企業と連携し、BtoBtoC型のAPI連携ビジネスモデルを模索。

期待される成果

- 個人適合理化介入が睡眠の質・メンタルヘルス・プレゼンティズム改善に寄与することを実証。
- 介入による労働生産性向上を定量化し、企業のROI（投資効果）を明示。
- 健康経営支援サービスとのAPI連携による事業モデルを確立。

サービスのイメージ



ビジネスモデルのイメージ

